

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	キャッチフレーズ、基本理念、ケア理念と3本柱であるが、職員交代もあり職員に理念が十分浸透していない。	入居者皆様一人ひとりの笑顔がみられるように職員が寄り添うケアを実施していきます。	挨拶をしっかり行い、笑顔で対応します。しっかり話を聴きます。職員間のほう(報告)れん(連絡)そう(相談)を密に行います。	6ヶ月
2	6	外に出掛けられる方もあり館内から外にすぐ出れない状況が発生している。	いつでも出入りが出来るような環境づくりをします。	日中は自由に出入りできるようにする。入居者の皆様と共に出掛けられるようにする。	6ヶ月
3	10	職員の交代が続き、入居者の家族様職員の顔を覚えられず不安に思われることがある。	顔と名前がわかるようにします。	各ユニット入り口に顔写真を掲載します。	3ヶ月
4	23	一人ひとりの思いや暮らし方等、「私の思い」が活用されていない。	一人ひとりの思いや暮らし方など職員全員が共有、共感します。	職員自ら役目(グループホームでの委員会の立ち上げ)をもち、ケアについて話すことが出来る環境づくりをします。また、入居者様の話をしっかり聴きます。	6ヶ月
5	4	地域の橋渡しともいえる運営推進会議に管理者しか参加していない。	職員も運営推進会議に参加し、皆さんに顔を覚えてもらう。	今後は職員も参加する。また、機関紙なども地域の方々に見て頂けるように配る。	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。